

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

東金市長 鹿間 陸郎

市町村名 (市町村コード)	東金市 (12213)
地域名 (地域内農業集落名)	福岡地区 (福岡村2-1)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年11月30日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・高齢化が進んでいる
- ・担い手の不足、後継者がいない
- ・集落戸数が減少している

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地域の新住民の理解が得られない、苦情がくる
- ・農業者以外へ農業についての理解を求める
- ・収益率を上げる
- ・農作物のブランド化や海外輸出を検討
- ⑨農地は雨水を貯めるのに有効であると認識されてきている。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)



注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場が分散していて効率が悪い、農地が狭い ・各集落ごとに大規模農家が1人は必要ではないか ・担い手への集約が必要
(2)農地中間管理機構の活用方針
(3)基盤整備事業への取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ・用水の確保が難しい ・水田と畑が混在していて効率が悪い ・農地が狭い、30～50aくらいの田んぼにすれば効率的 ・基盤整備を実施したい ・基盤整備の課題は費用面
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ・大規模農家＋小規模農家で集落営農組織の設立(法人化)してはどうか ・営農組合は必要だと思うが、従事する人がいない ・やる気のある兼業農家を取り込む ・担い手の育成
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ①ジャンボタニシが増えている(意見)
- ⑦水利ポンプが老朽化している。
- ⑦多面的機能交付金の上限を増やしてほしい
- ⑨米価が安い(意見)
- ⑨農業機械が高く、設備投資できない
- ⑨燃料や水利費が高い